

たとえば、高校入試の事務手続きでは、
これまで紙の調査書などを手渡しや郵送でやり取りしていましたが、
受験前後の手続きを含む一連のプロセスがデジタルで完結される整備が進んでいます。

また、「データによる学習者の自己理解・教師の見取りの充実」に
向けた取り組みも加速しています。

学習ログの可視化などを通じて、
生徒が自身の学習状況を客観的に把握し、
主体的な学びを促す環境づくりが推進されています。

併せて教育デジタルサービス間の相互接続や、
教育データの標準化・分析活用の推進によって、
教師による指導や支援のさらなる充実も期待されています。

今後の校務 DX に関する環境整備については、
2029 年度までに次世代校務 DX 環境への全面移行を目指すとされています。

教育現場のデジタル化を通じて、
学びの質の向上と教員の働きやすい環境づくりの両立が、
今後さらに進んでいくことが期待されます。

▼「教育 DX ロードマップ」

<https://x.gd/J6KmF>

◇◆ トピックス (2)

JAPET&CEC「2025 年情報教育対応教員研修 全国セミナー」開催のお知らせ

.....◆◇

一般社団法人日本教育情報化振興会（JAPET&CEC）は、2025 年 9 月 27 日（土）に
「2025 年情報教育対応教員研修 全国セミナー」を開催いたします。

本セミナーでは、「未来の教育」をテーマに、生成 AI や働き方改革など、
次世代の学びについて教育の専門家や現場の実践者が意見を交わします。

テーマ：

子供たちの未来へつなげる、教育の羅針盤

～次世代の学び・生成 AI・働き方改革、次の 50 年を考える～

日 時：2025 年 9 月 27 日（土）13:00～16:45（開場 12:00）

会 場：新都市ホール（そごう横浜店 9F）

参加費：無料

主 催：一般社団法人 日本教育情報化振興会（JAPET&CEC）

共 催：日本教育工学協会（JAET）

後 援：文部科学省、総務省、経済産業省、デジタル庁

協 賛：株式会社 JMC

登壇者（予定）：

■ 次世代の学びとは

- ・ 山西 潤一 氏（一般社団法人 日本教育情報化振興会 会長）
- ・ 阿部 千鶴 氏（横浜市立荏田南小学校 校長）

■ 生成 AI

- ・ 安藤 昇 氏（青山学院大学・青山学院中等部 講師）
- ・ 鈴木 秀樹 氏（東京学芸大学附属小金井小学校 教諭）

■ 働き方改革

- ・ 有沢 正人 氏（いすゞ自動車株式会社 常務執行役員）
- ・ 島崎 直人 氏（神奈川県教職員組合 執行委員長）

※内容が変更になる場合がございます。

参加申し込みはこちらから：

<https://kyouiku0927.peatix.com/>

未来の教育を考える貴重な機会です。

ご興味のある方はぜひご参加ください。

▼2025 年情報教育対応教員研修 全国セミナー

<https://kyouiku0927.peatix.com/>

■□□■□□■□□■□□■□□■□□■□□■□□■□□■□□■□□■□□■

□【2】 情報セキュリティ事故ニュース ～ささいなミスが事故を招く～

■□□■□□■□□■□□■□□■□□■□□■□□■□□■□□■□□■

★☆ 情報セキュリティ事故の発生状況（2025 年 7 月 3 日調査）

☆★ （1）紛失・置き忘れ：7 件 （2）誤公開：4 件 （3）誤送信：2 件
（4）誤配布：2 件 （5）不正アクセス：2 件

☆★ >> <https://school-security.jp/leak/>

2025 年 6 月は、合計 17 件の事故が発生しました。

情報セキュリティ事故の内訳と概要（都道府県名、公表日、組織区分、漏えい経路・媒体、個人情報数）は以下の通りです。

（1） 紛失・置き忘れ

東京都 2025 年 6 月 2 日 都立高等学校 書類 77 件
愛知県 2025 年 6 月 2 日 市その他 書類 1 件
愛知県 2025 年 6 月 4 日 市立小学校 書類 1 件
香川県 2025 年 6 月 11 日 県立高等学校 書類 40 件
大阪府 2025 年 6 月 11 日 府立高等学校 書類 1 件
京都府 2025 年 6 月 27 日 府立高等学校 書類 236 件
東京都 2025 年 6 月 27 日 都立高等学校 書類 94 件

（2） 誤公開

愛媛県 2025 年 6 月 4 日 県立高等学校 インターネットサービス・アプリ 約 900 件
埼玉県 2025 年 6 月 16 日 不明 インターネットサービス・アプリ 547 件
埼玉県 2025 年 6 月 16 日 不明 インターネットサービス・アプリ 156 件
千葉県 2025 年 6 月 17 日 高等学校 インターネットサービス・アプリ 321 件

（3） 誤送信

滋賀県 2025 年 6 月 5 日 中学校 インターネットサービス・アプリ 不明
茨城県 2025 年 6 月 6 日 市その他 電子メール 75 件

（4） 誤配布

東京都 2025 年 6 月 11 日 都立高等学校 書類 不明
神奈川県 2025 年 6 月 27 日 市立小学校 書類 不明

（5） 不正アクセス

山形県 2025 年 6 月 7 日 国立中学校 パソコン、システム・サーバー 2,269 件
愛知県 2025 年 6 月 19 日 国立大学 パソコン、システム・サーバー 1,626 件

※以下の参考サイトをもとに、学校、公的教育機関、関連組織で発生した情報セキュリティ事故の内訳と概要を掲載しています。事故の詳細は、上記に記載されている項目を検索するなどして、ご確認をお願いいたします。

参考サイト：

大阪府ホームページ／香川県ホームページ／NHK NEWS WEB／東京都教育委員会ホームページ／Security NEXT／
カナロコ／読売新聞オンライン など

■□□■□□■□□■□□■□□■□□■□□■□□■□□■□□■□□■□□■□□■□□■

□【3】 学校 ICT・セキュリティコラム



◆ 【インタビュー：AIが安藤先生に聞く】 AIは教育評価をどう変える？

数十万規模 AI エージェントと共創する未来、問われる「人間ならではの価値」（前編）◆

青山学院大学・青山学院中等部 講師 教務主任 安藤 昇

教育の世界にも、テクノロジーの波が着実に押し寄せています。

特に「教育評価」のあり方は、AI 技術の進化とともに

大きな変革期を迎えようとしています。

今回は、生成 AI 教育の第一人者である安藤先生のお話を基に、

教育評価の未来図と、そこで私たちが本当に大切にすべきことは何かを探ります。

◆ 変わり始めた教育評価の風景：「メクビット（MEXCBT）」の登場とその先

皆さんは「メクビット（MEXCBT）」という言葉に耳にしたことがあるでしょうか？

これは文部科学省が推進する CBT（Computer Based Testing）システム、

つまりコンピューターを使ったテストのことです。

安藤先生によると、すでに公立小学校の 7 割以上、

中学校ではほぼ 100%導入されている地域もあるなど、

教育現場での活用が急速に進んでいます。

メクビット（MEXCBT）の導入は、

従来の紙テストでは難しかった

多様な出題形式（選択肢の並び替えや音声録音など）を可能にし、

教員の採点業務の負担軽減にもつながるなど、

大きなメリットをもたらしています。

しかし、安藤先生は「ある特定の瞬間の学力しか測れないという限界もある」と指摘します。

日々のコンディションや精神状態に左右される学習成果の波や、

問題バンクが固定化されることによる暗記競争への懸念、

画一的なフィードバックになりがちで深い学びにつながりにくいといった課題も、

次世代の教育評価を考える上で無視できません。

◆ AI が拓く、新たな評価の地平：「長期記憶 AI」と「数十万規模 AI エージェント」

では、これらの課題に対し、AI はどのような可能性を示してくれるのでしょうか？

安藤先生が注目するのは、まず「長期記憶 AI」です。

これは、日々の学習活動、例えば生徒同士の対話、演習への取り組み、

探求活動のプロセスといったあらゆる学習行動を

時系列で継続的に記録・分析する AI です。

これにより、「個々の知識がどうつながり、

どのように定着していくのかをリアルタイムで

見える化できる可能性がある」と安藤先生は語ります。

結果だけでなく、学びの過程そのものが評価の対象となる時代が来るかもしれません。

さらに未来的な構想として、「数十万規模 AI エージェント」

というアイデアも提示されています。

これは、それぞれが独自の目標や記憶、さらには感情のようなものを持った

AI エージェントが仮想空間上に無数に存在し、

学習者はそれらと対等に関わりながら学ぶというものです。

安藤先生はこれを「デジタルの広場（アゴラ）のようなイメージ」と表現します。

歴史上の人物を模した AI と白熱した議論を交わして交渉術を磨いたり、

仮想の市民 AI と協力して都市計画をシミュレーションしたりと、

学びの形は格段に多様化し、深まることが期待されます。

◆教師の役割はどう変わるのか？評価者から「学びの設計者」へ

こうした AI 技術の進化は、教師の役割にも大きな変化を促します。

安藤先生は、「教師が評価というタスクからある程度解放されれば、

その時間をより創造的な活動に使えるようになる」と言います。

例えば、教科の枠を超えたプロジェクト学習をデザインする、

地域社会と連携したリアルな学びの場を創出する、

あるいは AI が出してきた評価が本当に妥当なのか、

教育的観点から公平なのかを吟味するといった役割です。

AI はあくまでツールであり、その活用方法を考え、

子どもたちと共に探求するファシリテーター、

そして学びの場全体をデザインする「コミュニティアーキテクト」としての

教師像が浮かび上がってきます。

◆ 執筆者プロフィール ◆

安藤 昇

スタディサプリ情報 I 講師

青山学院大学・青山学院中等部講師

……◇◆ 【最新版】「個人情報漏えい事故の発生状況調査報告書」を公開 ◆◇……

ISEN では、今年 6 月に「令和 6 年度 学校・教育機関における個人情報漏えい事故の発生状況」調査報告書（第 1 版）を Web 公開しました。

>> https://school-security.jp/leak_all/

<事務局>

教育ネットワーク情報セキュリティ推進委員会（ISEN）

〒105-0013 東京都港区浜松町 1-30-5 浜松町スクエア 2 階（株式会社 JMC 内）

<https://school-security.jp/>

▽「教育の情報化や学校情報セキュリティ対策」にご興味をお持ちの方が
いらっしゃいましたら、本メールマガジンをご紹介します。

メルマガ登録フォーム：<https://fs220.xbit.jp/y592/form2/>

▽ 個人情報の取り扱いは下記リンクをご参照ください。

<https://school-security.jp/privacy/>

▽ お問い合わせ・配信停止・メールアドレスの変更は、
下記フォームよりご連絡ください。

<https://fs220.xbit.jp/y592/form3/>